

# 令和7年度(2025年度)事業報告書

## 1. 概況

医療を取り巻く環境は人材不足、物価高騰、経営悪化、地域医療の弱体化が同時進行し、医療提供体制の持続が危機に直面している。当法人においても、入院患者数の確保が一段と難しくなる一方、職員の高齢化が進み新たな人材の確保もますます厳しさを増すなど、運営面で多くの課題に直面している。こうした状況の中でも、経営健全化に向けた各事業所の努力に加え公的支援の活用もあり、法人全体として黒字を確保することができた。

## 2. 令和7年度事業計画に基づく事業活動の状況

当期における事業活動の状況は、概ね次のとおりである。

### (1) 精神衛生の研究

#### ①患者の治療・社会復帰に関する調査研究

医師をはじめ、看護師・精神保健福祉士・臨床心理士が日常業務の中で、継続的に調査研究を実施している。

#### ②精神衛生の統計ならびに一般財団法人新居浜精神衛生研究所紀要の発行

当法人既発行の紀要や、外部の紀要等の事例を元に、引き続き発行に向け準備を続けている。

#### ③入院患者の考察に基づく院内看護研究発表会の開催

院内の研究発表会や勉強会等による研修・研究を通して、また、院外の学会や研修会等に積極的に参加することにより、医療に関する研究考察・質的向上に努めた。

看護部において、豊岡台病院は20回の勉強会を実施し、院内外の研修会等への参加は、財団新居浜病院では20回、豊岡台病院では10回の実績であった。

看護職員以外では、医師をはじめ、薬剤師等のコメディカル、その他の職員も院内外の研修会等に積極的に参加した。(財団新居浜病院49回、豊岡台病院27回)

### (2) 精神疾患の予防に関する普及及び宣伝

医師、看護師をはじめとして、薬剤師・精神保健福祉士・臨床心理士・作業療法士・理学療法士・管理栄養士・臨床検査技師等は、院外の研究会・研修会・学会・勉強会・交流会等へ積極的に参加し、最新の医学研究の情報収集に努めるとともに、外部の関係機関や関係者と連携して、講演会・座談会・健康相談会等の開催及び講師の派遣を行い、患者家族及び一般の方々に、精神疾患に関する情報の提供や情報交換を行い、地域における精神疾患の予防に関する普及、宣伝に努めた。

### (3) 附属病院の経営

財団新居浜病院及び豊岡台病院の経営を行い、地域社会が要請する医療の提供に努めている。諸部門の強化充実を図るため、医療従事者の確保に努めているが、職員の採用には両院ともに引き続き苦慮している。

#### ①財団新居浜病院

令和7年度は、4月度の1日平均入院患者数293名から8月度の最大309名まで増加したものの3月度には292名となり、年度単純平均では300名で予算数325名に対して25名の不足となった。外来患者については、4月度の1日平均外来患者数79名から3月度には77名となり、微減ではあるものの当初予算数80名に対して3名の不足であった。

慢性的な人員不足については若干の改善が見られたが、人材紹介会社によるものが多く、紹介料等の支出が懸念された。職員の賃上げについては補助金との関係もあり外来、入院ともに診療報酬としてベースアップ評価料の算定を開始し、これをもとに賃上げを行った。

また、種々のサービス、物品の値上げがみられ、特に食品関係の物価高は給食部門を大きく圧迫していたが、補助金、診療報酬内の後追いかつ小刻みな食事代の値上げによりかろうじて運営できている。

行政機関からの財政的支援（補助金）は以下の通りである。

#### 【行政機関からの財政的支援（補助金）】

|                              |          |
|------------------------------|----------|
| 医療・福祉施設等食材費高騰対策応援金           | 8,250千円  |
| 医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業補助金 | 85,925千円 |
| 合計                           | 94,175千円 |

#### 【入 院】

|         |           |      |      |             |
|---------|-----------|------|------|-------------|
| (当初予算)  | 入院1日平均患者数 | 325人 | 医業収入 | 1,750,285千円 |
| (実績)    | 〃         | 300人 | 〃    | 1,619,831千円 |
| (前年度実績) | 〃         | 295人 | 〃    | 1,556,496千円 |

#### 【外来（訪問等含む）】

|         |           |     |      |           |
|---------|-----------|-----|------|-----------|
| (当初予算)  | 外来1日平均患者数 | 80人 | 医業収入 | 185,953千円 |
| (実績)    | 〃         | 77人 | 〃    | 163,942千円 |
| (前年度実績) | 〃         | 82人 | 〃    | 181,051千円 |

医業収入全体で、前年度実績と比べ年間46,225千円の増収、対当初予算では年間152,465千円の減収となる。

## ②豊岡台病院

令和6年度8月より、看護要員及び入院患者数の減少に伴い病棟再編を行い、3階療養病棟(48床)5階精神病棟(56床)の2病棟体制とした。また、外来部門の収益増加を目的として、デイ・ケアを大規模へ変更届出するとともに、訪問看護担当者を増員した。そうすることで5年以内に赤字半減を目標とし、今年度は取組の実績が通期で反映される初年度にあたる。

令和7年度通期で見ると、入院収益は268万円の微増だったが、外来収益はデイ・ケアや訪問看護の予算目標達成の為に患者数が増加したことで、1,787万円増となった。なお、入院患者の減少に伴い材料費が1,109万円減少し、職員の減少等により給与費は1,049万円減少したが、経費は244万円増加した。最終損益は、医業収益の改善と病床数最適化支援事業費給付金や医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業費補助金等で1億1,485万円あったことが大きく収益に影響し、2,822万円の赤字となった。ただし、最終損益から補助金を除くと、約1億4,308万円の赤字だった為、目標達成することは出来なかった。

また、看護要員について病棟の看護師・看護補助者は、必要最小限の人数での運営が常態化しており、欠員や休暇取得が即座に勤務体制の維持に影響する脆弱な状況にある。この為、職員の負担増加や離職リスクの高まりが懸念される。持続可能な体制構築に向けて、人材確保の検討が不可欠である為、引き続き積極的に採用活動に努めている。

新規取得固定資産としては、5階病棟改修工事234万円、売店・2階ナースステーション改修工事112万円、緑内障検査機器(リース契約)2,479万円、医事システム更新(リース契約)1,098万円等を計上した。

## (4) 看護専門学校の経営

令和7年度は全学年合わせて53名(定員充足率58.9%)でスタートした。年度途中で5名の中途退学者が発生したものの、3月末時点の在籍数は48名(定員充足率53.3%)に留まった。特筆すべきは、昨年度10名にのぼった中途退学者数が5名(休学中を含む)へと半減した点である。これは昨年度後期より導入した「特別講義」や「学習スペースの提供」といった支援策が、着実に実を結んだ結果と考えられる。

一方で、努力が結果に結びつかず、意欲を失い退学に至る学生も見受けられた。モチベーションの維持と自信回復に向けた「メンタルケアの充実」や「小さな成功体験の創出」が、今後の喫緊の課題である。

また、入試難易度の変化に伴い、基礎学力や自己管理に課題を抱える学生が増加傾向にある。これに対し本校では、一人ひとりに寄り添うサポート体制を強化し、国家試験合格から就職までを一貫して支援している。

少子化による志願者減少や看護職へのイメージ変化、大学志向の影響で定員充足率は低下傾向にあるが、本校の独自性を打ち出すべく広報活動にも注力した。補助金や新居浜市・西条市の後援を活用した学校祭の盛大開催や、第115回看護師国家試験での合格率100%達成など、確かな教育実績を残している。

さらに今年度は教職員用PC14台の更新とネットワーク環境の再構築を実施した。業務効率化とセキュリティ強化を図り、より質の高い教育を提供できる体制を整えている。

#### (5) 精神障害者の診療・治療

財団新居浜病院の入院診療の実績並びに診断の内容は、令和7年度末で293名の患者が在院しており、主な疾病別の患者数と平均在院日数は次のとおりである。

| 病名      | 人数<br>(人) | 平均在院日数<br>(日) |
|---------|-----------|---------------|
| 統合失調症   | 186       | 3,998         |
| 躁うつ病    | 27        | 1,045         |
| 認知症     | 51        | 680           |
| 器質性精神障害 | 13        | 211           |
| アルコール中毒 | 3         | 782           |
| 覚醒剤中毒   | 3         | 2,920         |
| 知的障害    | 7         | 866           |
| 精神神経症   | 3         | 2,884         |

全体の疾病のうち、統合失調症が63.5%を占めている。

豊岡台病院では、延べ入院患者数は31,076人/年（対前年比△961人/年）、うち精神科病棟は17,865人/年（対前年比△3,198人/年）、内科療養病棟では、13,211人/年（対前年比+2,237人/年）となり、平均入院患者数は85.1人/日（対前年比△2.6人/日）となった。外来の延患者数は19,810人/年（対前年比+3,074人/年）で、うち精神科は、13,419人/年（対前年比+3,525人/年）、整形外科・リハビリテーション科では8,880人/年（対前年比+173人/年）、眼科では1,469人/（対前年比△34人/年）、内科では2,910人/年（対前年比△765人/年）、年間の1日平均患者数は68.5人/日（対前年比+12人/日）という結果であった。その中で、精神科デイ・ケアは6,447人/年（対前年比+1,764人/年）、精神科訪問看護は2,960人/年（対前年比+1,352人/年）と大きく増加した。

#### (6) 精神障害者の社会復帰の促進

財団新居浜病院、豊岡台病院ともに、医療社会事業科の精神保健福祉士が地域活動の中心的役割を果たしており、看護部ほかの協力を得て、院内外の患者及び家族との関係を密にした活動を行っている。

主な活動としては、懇談会・勉強会等の実施・デイ・ケア新聞の発行・納涼夏祭り・クリスマス会等のレクリエーション活動の実施である。また、関係機関等との連絡会・交流会・学習会に積極的に参加し、コミュニケーションを深めることにより、精神障害者の医療、社会復帰等の支援に努めている。

## (7) 居宅介護支援事業

愛媛県の介護保険の指定を受けて、要介護状態または要支援状態にある高齢者及びその介護者の居宅に関わる総合的な相談に応じ、サービスが適切に利用できるように適正な居宅介護支援サービスを提供している。

主な業務内容は次のとおりである。

- ①要介護・要支援認定等の申請について、申請の代行業務を行う。
- ②介護保険の説明、介護保険サービス利用についての相談等に応じる。
- ③利用者・家族の意向を聞いて介護サービス計画書の作成、担当者会議の開催、介護サービス事業所との連携を図り、サービスが適切に行えているか利用状況の把握を行う。
- ④毎月利用者の自宅を訪問し、利用者・その家族と会って毎月モニタリングを行う。
- ⑤必要に応じて介護サービス計画書の変更、必要なサービスの調整を行う。
- ⑥愛媛県、四国中央市で開催される研修会、勉強会、講演会等に参加し、介護支援専門員としての資質向上に努める。

居宅介護支援事業については、豊岡台病院において行ってきたが、スタッフの確保が困難となり、令和3年12月より休止せざるを得ない状況にある。

## (8) その他必要な事業

国立大学法人愛媛大学への寄付について

今年度も、寄付の目的「脳と心の医学」の研究のために、令和7年5月9日に100万円の寄付を実行した。

3. 当法人の職員の状況は次のとおりである。(令和8年3月31日現在)

(人)

|           | 財団新居浜 | 豊岡台 | 学校 | 計   |
|-----------|-------|-----|----|-----|
| 医師        | 6     | 4   |    | 10  |
| 非常勤医師     | 4     | 4   |    | 8   |
| 看護師       | 94    | 30  |    | 124 |
| 教員        |       |     | 11 | 11  |
| 准看護師      | 20    | 11  |    | 31  |
| 看護補助者     | 19    | 15  |    | 34  |
| 作業療法士     | 6     | 3   |    | 9   |
| 精神保健福祉士   | 5     | 3   |    | 8   |
| 薬剤師       | 3     | 2   |    | 5   |
| 管理栄養士、栄養士 | 5     | 2   |    | 7   |
| 臨床心理士、心理士 | 2     | 1   |    | 3   |
| 臨床検査技師    | 3     | 2   |    | 5   |
| 診療放射線技師   | 1     | 1   |    | 2   |
| 理学療法士     |       | 2   |    | 2   |
| 調理作業員     | 17    | 7   |    | 24  |
| 事務職員      | 24    | 12  | 2  | 38  |
| 計         | 209   | 99  | 13 | 321 |

(法人事務局は、財団新居浜病院に含む)

(前年より16人減)

以上